

文化講演会

中世六浦の庶民生活について

金沢区文化協会主催



しおさい

金沢区文化協会会報

金沢区文化協会

編集人 岩瀬昭二
広報部長

☎ 701-0795

発行人 長 助川信彦

☎ 781-9337

平成十一年三月十三日(土)午後金沢地区センター大会議室で「中世六浦の庶民生活について」県立金沢文庫主任学芸員福島金治氏の文化講演会が開かれました。

江戸時代より遙に前の五百年から七百年も昔の鎌倉時代から、室町時代のお話です。福島先生は金沢文庫所蔵の古文書から、中世の生活をしのぶ話をされました。

「当時は身分制度が確立されていて侍・一般人・百姓・浪人・下人など犯罪を犯した場合、侍は幕府が裁き、使用人など身分の低い者は、おでこに焼き印を押されたり、髪の毛を剃り落したりされた。

人さらいや人身売買・バクチ・高利貸の禁止などを鎌倉幕府が法令で出している。

住民たちは保という名の今の町内会組織をつくり、街道の安全や不法占拠を排し、大通りに小屋を建て旅の妊婦の世話をした。

金沢北条氏の称名寺は、奈良西大寺の末寺に当り、その戒律が殺生禁断であり、瀬戸入海では魚を獲ってはならないとした。今の泥亀・区役所から能見堂の下の海がこれに該当する。

室町時代六浦には畑が広がっていた。瀬戸神社の奥も釜利谷まで畑で大豆が耕作されていて、年貢として納められている。米は貴重で高価で

あり、米一俵が千文、一升で三十文もした。馬一頭の薪(三、四把)が三十文であり、人夫賃が一日で五、十文位だから、お米はお粥にしてでも週に二回たべられれば御馳走だった。

六浦あたりの道路は道幅一・五、二米位で現在の横浜とあまり変わっていないと思われる。

六浦は対岸の房総への渡り口でもあり、船の出入りが多く、西日本や伊勢湾からの船も入っていた。船の貸借にまつわるトラブルも多く、訴状が残されている。

町屋あたりは港のせいで鍛冶職人が多く住み、船釘・寺社釘・鍬・鋤の農機具も盛んに作られた。

鎌倉を控えて、六浦と大道に閑所があり通行料を取り立てていた。農作業で通る際にも通行料をとられたようだ。

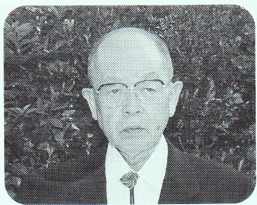
当時の住民の平均寿命は四十才、五十才位で、六十才以上は古老といわれた。十五才から六十才までは日常は百姓をし、戦乱のときは足軽として戦場に駆り出された。生活は厳しく、女・子供の身売りも多く、誘拐の対象となった(森陽外・山椒太夫の安寿と厨子王の話)。

この他、金沢で塩づくりが盛んだったこと、称名寺が住民のためにいろいろな施しをしたことなど珍しいお話を伺いました。九十名の聴衆の拍手のなか三時半終了しました。

定時総会開催



平成十一年度総会が四月二十五日(日)金沢地区センター大会議室において開催されました。助川会長代行の挨拶のあと金沢区役所生涯学習支援係長島田定治氏「本年四月に赴任したばかりですが、金沢区文化協会は活動が極めて活発の上、自主企画・運営されていると伺いました。今後益々のご発展をお祈り致します」の来賓挨拶をいただきました。続いて松本純・国吉一夫・小幡正雄・黒川澄夫各議員諸氏の挨拶があり、助川会長代行を議長に選出しました。定数報告は、出席四十五名・委任状六二名で会員総数一五四



新会長 助川 信彦

(経歴)
 医師
 元横浜市公書
 対策局長
 金沢区民
 歌人会会長
 前文化協会
 副会長

金沢区民俳句大会



文化協会加盟の団体は、それぞれ独自に発表の場を持つていますが、文化協会はそれらをコーディネートして、合同で発表すると、異分野の組み合わせの催しを計画するように理事会で話し合っておりです。

文芸部では、坂理事が区内の俳句愛好者に呼びかけて区民俳句大会を計画されました。金沢区でこのよう

このあと会則改正案が後藤理事の説明のもと逐条審議されました。文化協会発足以来四年を経過し、実情に合わないところが出てきたので改正したいと趣旨説明があり原案通り承認されました。最後に理事役員の改選が審議され、助川信彦会長以下新役員の就任も原案通り承認され二時十七分総会終了となりました。十分間休憩ののち助川会長の司会進行で懇談会が持たれ、カラオケ部を作ってほしいなど要望が出された。

理事会だより

- 11・3・17 文化講演会「中世六浦の庶民生活について」報告。11年度定時総会の案内書発送並びに議案書作成スケジュールとその内容検討。
- 4・14 3〜4月の行事報告。総会議案書内容検討。総会役割分担。文化ホール建設促進のため小委員会組織。規約改正により今後理事会欠席の際は委任状提出のこと。
- 5・12 新理事紹介 蓮見町子(一般文化)・横堀みつ恵(洋舞)・小田洋晴(陶芸)。規約改正による理事会運営方法変更。新会員募集(賛助会員を含む)に力を入れる。俳句大会準備状況報告。
- 6・9 俳句大会報告。文化協会設立記念行事として区内中学校の協力のもと音楽フェスティバルを来年2月開催予定(長谷川)。文化ホール建設小委の鎌倉芸術館見学日程。
- 6・19 区民会議において文化ホール建設をアピールする(岩瀬)。
- 7・14 来年発行の金沢区制五十年史の文中写真の撮影を文化協会写真部に区役所より依頼あり、歴史部会より7・25海の公園にて天日製塩のテストを行う旨報告。金沢区民短歌大会10・24開催予定説明。
- 8・11 会費納入状況報告。写真部より初心者写真教室の準備状況報告。吟剣詩舞部大会準備状況報告。賛助会員勧誘運動報告。

文化協会の主張

“金沢区に文化ホールを”

建設促進小委発足

金沢区文化協会は、文化ホール建設促進運動の中心となるべく、理事会に「文化ホール建設小委員会」を組織した。助川会長を委員長に11名の委員が6月9日発令された。

6月16日に第1回小委員会開催。文化ホールを“街おこし”の中核にする・鎌倉芸術館見学など決定。7月30日に第2回小委員会開催。区民のつどいで文化ホールの建設をアピールした件。鎌倉芸術館見学の結果、多目的小ホールとギャラリーの文化ホール建設を目指す。会員である各議員と意見交換の懇談会を開催することにした。

鎌倉芸術館見学

7月13日午前鎌倉芸術館の見学会が行われた。参加者は助川会長以下10名、大船駅より徒歩12分ほどの距離である。4階建石づくりの堂々たる建物、会議室で鎌倉市芸術文化振興財団事務局長の原氏より説明を受ける。バブル時期の計画が結果的に幸いしたこと、松竹撮影所の敷地を借用できたこと、建設費129億円、運営の独立採算は困難なこと、建設の話が出て実現するまで20年を要したことなど。そのあとスライドで予備知識を受けたのち館内見学。大ホール(1,500席)・小ホール(600席)の舞台の広さ・能や現代演劇用に変換出来る設備に感嘆する。ギャラリーも

3つあり、竹林の美しい中庭など2時間ほどがあつという間に終わった。休館日であったので、舞台裏や控室など係の方々が親切に案内して下さいました。

「区民のつどい」でアピール

6月19日(土)午後金沢公会堂にて平成11年度金沢区「区民のつどい」が行われた。

金沢区長以下幹部職員に顧問として県・市議員各氏が出席。一般区民260名が参加し「より良いわが街・金沢区を考える」をテーマとして話し合いがあった。

文化協会からは広報部長岩瀬理事が発言し“歴史と文化の街にふさわしい文化ホールの建設を!!”と訴えた。

うと、講師三浦一男先生の指導のもと昨年からはプランを練っていました。七月二十五日(日)朝から、研究会の仲野・田丸氏はじめ七名の方々が海の公園の



金沢海岸は中世の昔から塩づくりが盛んで明治時代まで塩田がありました。歴史部白井理事が所属する郷土史研究会では、実際に天日製塩が出来るかテストしてみよ

海の公園で「塩づくり」

砂浜の一角に5×5mの塩田を作りました。まず手製の熊手で畝をつくり、柄杓で海水を撒く、強い日差しのもと一時間おきに撒水します。海水浴の人々が珍しがって集まってきました。

午後表面の砂を集め濾過槽で濾過します。これには沖合で採集したきれいな海水を入れました。この水は柴漁港において生簀用の水をいたゞいたこととです。最後に長い時間をかけて鍋で煮つめ、木灰でニガリを抜き、180gの塩が出来上りました。

天日製塩は金沢区にふさわしいイベントです。文化協会としてもお手伝いして、定例行事にしたいと思います。



手づくり絵本教室

児童文化部 氏家理事の「ハロールーム」では、五月八日と二十二日の二日にわたり金沢地区センター「手づくり児童絵本教室」を開催しました。

区役所と文化協会の後援のもと、一年生から六年生の児童二十四名が公募抽選で選ばれました。児童が忙しい日常を離れ、自由な空間で自分の心を見つめる事でその奥にある世界を絵本という形にしようとの趣旨です。

二日目には、子供達が実際に経験した友との別れや、将来の望みなど自分の心と向き合った作品や、布地を使つての表現もあつたりで、「さすがに「絵本」に興味を持って応募してきた子供達だけあるわね」とスタッフと感心しました。

会員プロフィール ⑧

金沢美術クラブ



「金沢美術クラブ」は昭和五十八年九月、六浦美術クラブとして発足し、その後広く六浦以外からの会員も増えましたので、昭和六十年「金沢美術クラブ」と改称、今日に至っております。

講師は日本美術家連盟会員の中村簡次先生ですが、既に齢九十歳を越えて、誠に矍鑠たるもの、会員一同絵以外でも教えられる所が多々あります。

会の勉強会は、金沢地区センターの会議室を利用月二回、主に水曜日を中心に、油絵、水彩画を描いており、又年に三、四回程度の写生会を楽しんでおります。メンバーは、家庭の主婦あり、定年後の紳士?あり、多士済々、年齢は高くと

櫛の実コーラス

去る7月18日(日)、県立音楽堂で創立35周年記念演奏会を開催した女声合唱団です。

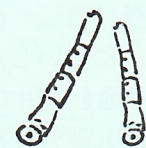
毎週木曜日10時半から母音の発声に始まり、クチの開け方、お腹の使い方の再確認、気が引き締まってくると楽譜を手を――音を楽しむ――音楽。寒い時期にはもう一枚上着を脱ぎ捨て各パートを聴き合いハーモニーの統一、豊かな音楽作りに日常の雑事を忘れ、チャレンジ精神旺盛に指揮者の棒についてゆきます。人生、個人で味わう感激は多々ありますが、大勢の仲間と共に感動を分つ事は歳を重ねる毎に少なくなるようです。言葉では表現出来ないようなこの素晴らしい感動はひとしおです。歌える間は青春!!と色々なジャンルの曲に挑戦しておりますので、どうぞあなたも一緒に歌いませんか。

六浦駅下車徒歩2分、南川町内会館で練習しております。

(足立)

金沢岳風会

当会は、社団法人日本詩吟学院岳風会神奈川県本部に籍をおく団体です。



現在会員数は四二〇名で、四十八の教室があります。地域は金沢区内にとどまらず、大和市・鎌倉市・横須賀市・東京都内にも教室があり、年齢層も中学二年生から九十歳の男性までと幅の広い会です。

活動としては年二回春・秋に温習会、年一回の吟行会を行います。

来る十一月十四日(日)に栄公会堂で秋の温習会を行います。来秋には創立二十周年の記念吟道大会を金沢公会堂で開催する予定です。

他にも所属する京浜地区神奈川県本部主催の吟道大会、吟行会があり多数の会員が参加しています。詩吟は、おなかから大きな声を出すのでストレス解消、健康には大いに役立つものと思います。(佐々木)

女声合唱団 シーサイド・グレイスフル・シンガーズ

並木の新しい街で歌いたい、地域の仲間が集まって、女声合唱団がスタートしてから九年を迎えました。経験のない人、声の大きな人、小さな人...十人十色の声の一つのハーモニーにまともようと、丁寧に御指導下さっている指揮者の山本繁司先生。若い感性で、今のフアッシュンや風を感じさせて下さるピアニストの坂本由紀先生のもとに、毎週木曜日、朝九時半には、にぎやかな女性が集い練習をスタートさせています。

今年『はなみずき』生涯活動に参加し、地域の皆様に懐かしい中山晋平メロディを聞いていただいたり、共に歌ったりと楽しい時を過ごしました。十月十日には並木男性合唱団第二回定期演奏会に賛助出演をし、女声ならではのコーラスが出来ます様にと練習に励んでいます。

金沢区音楽の集いは秋の大きなステージの一つです。文化協会会員として、共によい演奏会が出来ます様に心がけていきたいと思っております。

千里久 幸子

六六四―三三〇―一



新賛助会員ご紹介

○横浜市金沢団地協同組合

理事長 杉山 幸生

金沢区鳥浜町一六一六

○関東学院大学

事務局長 森田 容好

金沢区六浦町四八三四

○横浜市立大学

事務局長 富田日出男

金沢区瀬戸二二二二

○金沢区三師会

会長 出井 昭

金沢区金沢町四八

金沢区文化協会主催事業のお知らせ

○区民文化祭区民の作品展

10月13日(水)〜17日(日)

於 金沢地区センター体育館

問い合わせ 岩瀬 七〇一―〇七九五

○金沢区民短歌大会

10月24日(日)

於 金沢地区センター

問い合わせ 上原 七八三―八五四九

○吟剣詩舞大会

12月5日(日)

於 金沢公会堂

来場歓迎

問い合わせ 梅木 七〇一―〇九〇四

編集後記

助川新会長より文化ホールの建設運動と新会員増強を今年度のテーマにとのお話があり、我々も頑張ります。児童文化部の氏家総子さんが新編集委員に加わりました。超若い人向き(?)の視点に期待します。

編集委員 岩瀬昭二・森川淳子・佐野史瑞子
後藤政也・氏家総子